

# ほのほのだよ

～ 親子で楽しむ 絵本の世界 ～

絵本作家のせなけいこさんが先日お亡くなりになりました。92歳でした。1969年に「いやだいやだ」の絵本でデビューされ、数多くの絵本を世に送り出してきました。どれもユーモアがあり、温かみがあります。

当園にも「おばけの天ぷら」「くずかごおばけ」「ねないこだれだ」などせなさんの絵本が多くあり、今後も読み伝えていきたいと思います。謹んでお悔やみ申し上げます。

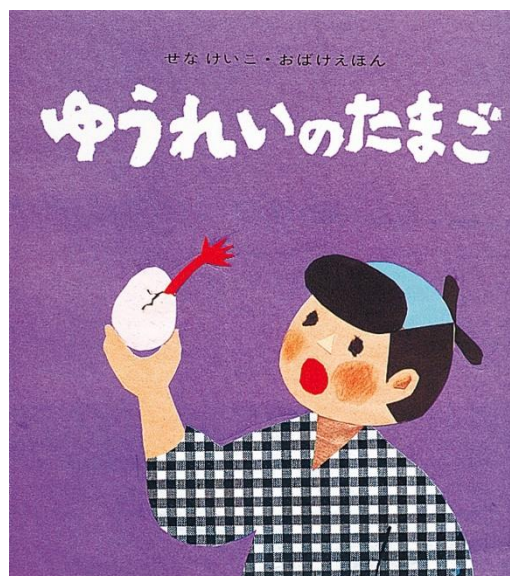
## 「ゆうれいのたまご」

(2～3歳クラス向け)

出版社： 童心社

作・絵： せな けいこ

木の下にへんなたまごが3つ落ちていました。「ぴちん」と割れて、それぞれのたまごから、赤い手・緑の足・白い体が出てきます。「え！おばけ？」と思うのですがどうやら様子が違います。最後の一文で「そんなに笑っていたら、ゆうれいらしくないよ」が印象的のかわいいおばけの絵本です。



## 「あめふりうさぎ」

(幼児クラス向け)

出版社： 新日本出版社

文・絵： せな けいこ

「あめふりうさぎ」。名前の通り、このうさぎさんが泣くと大雨が降るのです。必ず、降るのです。明日は遠足。友達がうさぎさんの家に来て「お願いだから明日は絶対に泣かないでね」と言います。次の日、熱を出したうさぎさん。「遠足に行きたいよ」と今にも泣き出しそう。お天気はどうなるのでしょうか…。

最後は思いやりを感じる、心温まる絵本です。

